

個別最適な学び研究部会 授業実践

令和4年12月12日(月) 2年1組 授業者:稲葉 祐紀子

教科:算数 単元名:かけ算(2)九九をつくろう 本時:15/17

単元の目標:乗法の意味について理解を深め、計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質やきまりを見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

1 部会の目標

多様な手段を知り、意欲を持って粘り強く取り組み、振り返りができる児童を育てる。

2 本時の学習について

(1) 児童の実態

○授業を通して、気づいたことや不思議に思ったこと、難しかったところなどの振り返りを紙に記述できるようになってきている。

○ICTを活用することで、集中して学習に取り組む児童が多い。

(2) 目指す児童の姿

○ICTを活用することで、意欲的に学習に取り組むことができる。

○一つの方法で考えを書くことができたなら、他の方法も考えることができる。

○考えを図や式を使って表し、説明することができる。

(3) これまでの取組

○写真や文字を使って考えを表現したり、学習の感想や振り返りを書く。

○友達が書いたものを共有し合う。

3 授業における手立て

○ロイロノートを使って、自分の考えを図に書き込みながら式や答えを考える。

○友達のロイロノートを見ながら、友達の考えを推測し、説明する。



4 成果○と課題●

○子供たちが集中して取り組むことができた。

●タブレットになると、ノートで学習するときよりも、子供たちの様子が把握しづらくなってしまった。

●計算で解くということを強調しすぎた結果、図に書き込む児童が少なかった。

●低位の子へのヒントカードなどを用意しておくとうよかった。

●最初にやり方を見せてから、子供たちの考える時間に入るほうが、子供たちがスムーズに取り組めたと思う。

●タブレットの大きさにノートを作成すると、子供が書き込みやすかった。

●カードをつなげて一度にたくさん送るよりも、1枚ずつ送ったほうが使いやすかった。

